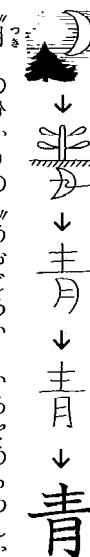


青

一年
筆順
画数 8
オノ セイ・ショウ
クシ あお・あおい

成る立方



“月”的ひかりの“あおじろい”いろをあらわした字です。“あおい”とか“あお”といういみの字です。

中国では、“あおい”といふいみのことばを“セイ”(呉音は“ショウ”)といいました。そこで、セイという音の“生のもののかたち”と“月”とをくみあわせてこの字をつくりました。

中国では、青をはる、赤をなつ、白をあき、黒をふゆのいろとし、これにくにのいろの黄いろをくわえて“五色”といいます。

「旧字体は、青で、生と丹との会意・形声字である。青色の顔料は丹石から取るので、「丹より生ず」としたものだという。しかし、これでは一年生には通じない。」

夕
一年
画数 3
筆順
オノ セキ
クシ ゆう

成り立ち



お月さまの“月”という字のはんぶんのかたちをあらわした字。やまからお月さまがでかかったところをあらわしたもので、ゆうがた”といふいみをあらわした字です。

お日さまの“日”という字があらわした“旦”という字があさ”で、お月さまの“月”といふいみをあらわした“夕”が“ゆう”です。いまは“元旦”とねんがじようにつかうだけの“旦”ですが、むかしは“旦夕”(あさゆう)といふいみに“日”と“夕”とは“対”になる字でした。

“夜”という字にも、この“夕”がつかわれています。

便い方

△“青春”ということばは、“白秋”にたいすることばです。秋をあらわすいろが白であるのにたいして、春をあらわすいろは“青”だからです。

△“青葉”といいますが、ほんとうのいろは“みどり”です。でも「みどりが青い」といいますね。

熟語例

△“青空”(青い空。はれわたつた空)

△“青葉”(青々とした葉。“わか葉”的こと。新緑ともいいます。)

△“青春”(“春”的こと。ふつうは“人生の春”的いみにつかわれます。例“青くさいかんがえ”)

△“青春時代”(“わかいころ”)

△“青果”(やさいやくだもの。“青もの”ともいいます。例“青果いちば”)

△“群青”(あざやかな青いろ。“あいいろ”にちかい)

△“绿青”(銅のひょうめんにできるさび。青もしくは绿いろをしています。)

△“青”(青い空。はれわたつた空)

△“青”(青い空。はれわたつた空)

△“青”(青い空。はれわたつた空)

△“夕方”(お日さましだんで、お月さまがでるころ。日のくれがた。夕ぐれ。夕べ)

△“夕日”(夕方のお日さま。にしのそらにかたむいたօ日さま。また、夕方の日のひかりのこと。)

△“夕立”(なつのにわかあめのこと。夕方におおいので“夕立”といいます。おおくかみなりがなります。)

△“夕映え”(夕日のひかりをうけてあたりがてりかがやくこと。“夕焼け”ともいいます。)

△“一朝一夕”(ひと朝や一晩といふいみで、わずかなじかん、または日々のこと)をいいます。

△“七夕”(七月七日の夕方のたなばたさまのおまつり。七月七日の夕をちぢめて“七夕”とかき、“たなばたまつり”的いみをあらわしたものです。)

特別な使い方